

●○○ 第174回あすか倶楽部 定例会 ●○○

テーマ：消費生活アドバイザーに期待すること

講師：一般財団法人日本産業協会 専務理事 高尾 孝信 氏

日時：2015年7月18日（土）14:00～17:00

場所：トヨタ自動車（株）池袋アムラックスビル6階604会議室

消費生活相談員資格の導入に伴い、消費生活アドバイザー資格は今後、どうなっていくのか不安に思われる方もいるかと思います。そこで、消費生活アドバイザー資格の今後と消費生活アドバイザーに期待することを、試験実施機関である日本産業協会の高尾専務理事にお話いただきました。

<消費生活アドバイザー資格について>

■消費生活アドバイザー資格制度の目的

平成27年1月に変更が行われました。消費者と企業や行政の架け橋としての役割を再認識するとともに、幅広い分野で社会貢献を果たす人材を養成することを目的としました。

■資格の合格者の状況

平成26年度の合格率は21.4%で、昨年度の21.0%とあまり変わりません。平成26年度の第1次試験受験申請者の数は1,519人で、前年比24人の増となり、長く続いた減少傾向に歯止めをかけたとのことでした。中期経営計画では平成27年度に2,000人、平成28年度に2,500人、平成29年度に3,000人へV字回復する目標を掲げているとの説明がありました。

また、最近の特徴として、男性が増えているとのことでした。

（参考：平成27年度の第1次試験受験申請者の数は2,332名で、平成26年度に比べ813名増加、中期経営計画に比べ332名超過となりました。）

■今後の見直し予定事項

・資格試験

災害対策

・実務研修

実施日数

・更新研修

Eラーニング教材と講座数

集合研修の講座時間

■今後の予定

・35周年記念事業

消費生活アドバイザー資格制度創設35周年記念事業におきましては、経済産業大臣表彰、内閣府特命担当大臣表彰を予定しているそうです。

・出版

平成27年11月下旬には仮称「消費生活アドバイザーがわかる本」の刊行も予定されています。

<ディスカッション>

日本産業協会が賛助会員企業等の消費生活アドバイザーに実施したアンケート調査項目や内容について説明がありました。

当日、受講者にアンケート調査項目に回答してもらい、その回答をもとにグループディスカッションを行いました。

高尾専務理事には、各グループをまわって、ディスカッションに加わっていただきました。

<質疑応答>

ディスカッションの後、質疑応答が行われました。

高尾専務理事からは、それらの質疑に対して、一つ一つ丁寧にご回答をいただきました。また、参加者からは、現行の消費生活アドバイザー資格制度への意見などが複数発言されました。

<所感>

消費生活アドバイザー資格取得者は、幅広く社会で活躍できる頼りがいのある人材として社会に認められなければならない。今回ブレストに参加したメンバーの中には、B to Cだけではなく、B to B分野での活動領域も含まれており、消費生活アドバイザーとして求められる資質について突っ込んだ議論を行った。

消費生活アドバイザー資格の魅力をアピールし、受験者を増やしていく一方で、我々資格保持者が社会貢献を果たすべき領域を自ら開拓し、さらに社会貢献度を高め、企業にその真価を認めてもらうためには、まだまだ、やるべきことがたくさんあると感じた。

報告者 第18期 清野 拓也